

平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年1月27日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 アドテック  
 コード番号 6840 URL <http://www.adtec.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 厚坂 誠  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部部長 (氏名) 薄木 豊  
 四半期報告書提出予定日 平成24年2月10日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

TEL 03-6736-5300

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	1,085	△22.5	10	△25.3	16	138.9	15	122.8
23年3月期第3四半期	1,399	12.0	14	—	6	—	6	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	1.53	—
23年3月期第3四半期	0.69	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
24年3月期第3四半期	1,410	—	1,140	—	80.9	115.01
23年3月期	1,432	—	1,131	—	78.6	113.54

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 1,140百万円 23年3月期 1,126百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
23年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,850	4.1	32	39.1	30	87.5	26	62.5	2.62

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は3ページ、サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用をご参照ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	10,266,720 株	23年3月期	10,266,720 株
24年3月期3Q	348,864 株	23年3月期	348,603 株
24年3月期3Q	9,918,010 株	23年3月期3Q	9,919,740 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書レビュー手続を実施しております。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 継続企業の前提に関する注記	6
(4) セグメント情報等	6
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	6
(6) 重要な後発事象	6
5. 補足情報	7
販売の状況	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要により一部回復基調はみせたものの、欧州の財政問題をはじめとした世界的な金融市場の混乱による海外経済の減速、円高の進行、またタイの洪水被害などにより、引き続き先行き不透明感が拭えない状況が続いております。

当社製品に関連する半導体メモリ市況に関しても、依然としてDRAM価格、NAND価格とも低迷が続いております。

こうした状況の中、メモリモジュール製品の売上高は、DRAM価格の低迷による売上単価の下落により、396百万円（前年同期比59%減）となりました。フラッシュメモリ製品の売上高は、大型案件の受注により、514百万円（前年同期比67%増）となりました。その他製品群につきましては175百万円（前年同期比41%増）となりました。

これにより第3四半期累計期間の売上高は1,085百万円（前年同期比22%減）となりました。売上総利益につきましては売上総利益率の改善はあるものの売上高の減少に伴い242百万円（前年同期比1%減）となりました。販管費は231百万円となり、営業利益は10百万円（前年同期比25%減）となりました。経常利益は為替差益、雑収入等により16百万円（前年同期比138%増）、四半期純利益は15百万円（前年同期比122%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する定性的情報

#### ① 資産、負債及び純資産の状況

##### (流動資産)

当第3四半期末における流動資産の残高は1,326百万円（前事業年度末は1,344百万円）となり前事業年度末と比較して18百万円減少しました。主な要因として、現金及び預金が101百万円、棚卸資産が12百万円減少したほか、受取手形及び売掛金が82百万円、その他が14百万円増加したことによるものであります。

##### (固定資産)

当第3四半期末における固定資産の残高は83百万円（前事業年度末は88百万円）となり前事業年度末と比較して5百万円減少しました。主な要因は有形固定資産が7百万円増加したほか、無形固定資産が4百万円、投資その他の資産（その他）が10百万円減少したことによるものであります。

##### (流動負債)

当第3四半期末における流動負債の残高は217百万円（前事業年度末は253百万円）となり前事業年度末と比較して36百万円減少しました。主な要因として、買掛金が18百万円、短期借入金が8百万円、賞与引当金が8百万円、それぞれ減少したことによるものであります。

##### (固定負債)

当第3四半期末における固定負債の残高は51百万円（前事業年度末は48百万円）となり前事業年度末と比較して3百万円増加しました。主な要因として退職給付引当金が2百万円増加したことによるものであります。

##### (純資産)

当第3四半期末における純資産は1,140百万円（前事業年度末1,131百万円）となり前事業年度末比較して9百万円増加しました。主な要因として、利益剰余金が15百万円増加し、新株予約権が5百万円減少したことによるものであります。

### (3) 業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては平成23年10月24日発表の業績予想の修正（第2四半期累計期間のみ業績予想を修正し、通期の業績予想に修正はございません。）より変更はございません。

尚、上記予想は本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

## 2. サマリー情報（その他）に関する事項

### （1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 棚卸資産の評価方法

当第3四半期会計期間末の棚卸高の算出に関しては実地棚卸を省略し、第2四半期累計期間末の実地棚卸高を基準として合理的な方法により算出する方法によっております。

### （2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 該当事項はありません。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

当社は平成22年3月期において売上高の著しい減少及び継続的な営業損失が発生し、将来にわたって事業活動を継続するとの前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況その他会社の経営に重要な影響を及ぼす事象が存在しております。新しい経営陣によりメモリ製品、車載製品、エコ環境製品の三製品に選択、集中し、売上高の拡大を目指すとともに、徹底した在庫管理のもと大幅な在庫削減を図り、また固定費の削減を実施した結果、平成23年3月期は営業利益を計上し、また当第3四半期累計期間においては第2四半期累計期間に震災等の影響のあおりを受け車載機器向けSDカードの販売開始時期が下期へのずれ込み等により発生した営業損失を、着実に挽回し営業利益を確保いたしました。また通期としましても、営業利益を確保することを見込んでおりますので、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断しております。

4. 四半期財務諸表  
(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成23年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	826,939	725,728
受取手形及び売掛金	265,896	347,955
商品及び製品	127,678	84,093
仕掛品	3,972	6,085
原材料及び貯蔵品	21,340	50,550
その他	103,313	117,875
貸倒引当金	△4,965	△5,814
流動資産合計	1,344,175	1,326,475
固定資産		
有形固定資産	23,852	31,392
無形固定資産	20,408	16,183
投資その他の資産		
その他	75,234	65,007
貸倒引当金	△31,251	△29,028
投資その他の資産合計	43,982	35,979
固定資産合計	88,244	83,555
資産合計	1,432,420	1,410,030
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	65,077	46,301
短期借入金	125,334	116,660
未払法人税等	4,857	3,284
賞与引当金	14,875	6,000
その他	42,997	45,605
流動負債合計	253,140	217,851
固定負債		
退職給付引当金	17,038	19,299
資産除去債務	5,089	5,089
その他	25,959	27,129
固定負債合計	48,086	51,518
負債合計	301,227	269,369
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	700,000	700,000
資本剰余金	541,856	541,856
利益剰余金	16,614	31,771
自己株式	△130,954	△130,972
株主資本合計	1,127,516	1,142,655
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△1,408	△1,994
評価・換算差額等合計	△1,408	△1,994
新株予約権	5,084	—
純資産合計	1,131,192	1,140,660
負債純資産合計	1,432,420	1,410,030

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	1,399,882	1,085,597
売上原価	1,155,384	842,824
売上総利益	244,497	242,772
販売費及び一般管理費	229,929	231,899
営業利益	14,568	10,873
営業外収益		
受取利息	281	170
受取配当金	10	10
為替差益	—	4,001
雑収入	4,648	1,896
営業外収益合計	4,940	6,078
営業外費用		
支払利息	1,103	592
為替差損	11,558	—
営業外費用合計	12,662	592
経常利益	6,847	16,359
特別利益		
新株予約権戻入益	861	5,084
貸倒引当金戻入額	403	—
過年度損益修正益	5,863	—
特別利益合計	7,127	5,084
特別損失		
投資有価証券評価損	—	2,413
固定資産除売却損	1,871	37
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1,247	—
違約金	1,770	—
特別損失合計	4,888	2,450
税引前四半期純利益	9,085	18,992
法人税等	2,282	3,835
四半期純利益	6,803	15,156

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

当社は単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。

## 5. 補足情報

### 販売の状況

品目	当第3四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	前年同期比 (%)
メモリモジュール製品 (千円)	396,211	41.0
フラッシュメモリ製品 (千円)	514,148	167.4
その他周辺機器 (千円)	175,238	141.1
合計 (千円)	1,085,597	77.5

(注) 上記金額には消費税は含まれておりません。